

報告－1

2021 年度（公社）日本地すべり学会 事業報告

1. 総務部

総務部は、地すべり学会をバックサポートする役割を担っている。コロナ渦の中での総務部の活動は、地すべり学会の機能を最低限維持する内容にとどまった。

(1) 行事

① 通常社員総会の開催

- ・ 日時：2021 年 6 月 10 日 10 時 30 分～11 時 30 分
- ・ 場所：TKP 新橋汐留ビジネスセンター（3 階）カンファレンスルーム 102
- ・ 参加者数 3 名、委任状提出 45 名、書面議決提出 18 名（計 66 議決権）
- ・ 今回はコロナ渦中の社員総会であった。出席者の安全と健康を守るため、出席者数を可能な限り減らした。代議員にも、委任状か書面議決書を使い、出席は極力控えるよう依頼した。

② 理事会の開催

- ・ 2021 年 5 月 14 日、9 月 14 日、11 月 26 日（ハイブリッド開催）、2022 年 3 月 11 日
- ・ コロナ渦のため理事会は、11 月 26 日を除いてオンラインで行った。

③ 執行部会の運営事務

- ・ 2020 年 4 月 30 日、9 月 3 日、11 月 12 日、2022 年 2 月 25 日
- ・ コロナ渦のため執行部会は、オンラインで行った。

④ 役員選挙の運営事務

- ・ 選挙管理委員会：（第 1 回）2021 年 12 月 23 日、（第 2 回）2022 年 3 月 4 日
- ・ 選挙公示：2022 年 1 月 28 日、投票締め切り：3 月 1 日、開票：3 月 4 日、
- ・ 理事会への報告：2022 年 3 月 11 日

(2) 庶務

- ・ 社員総会、理事会及び執行部会に係る議事資料及び議事録の作成
- ・ 細則の改訂
2021 年 9 月 14 日 理事会：表彰細則（論文賞、技術報告賞、研究奨励賞の選定基準を改定）
2022 年 3 月 11 日 理事会：役員候補者推薦細則（監事の選定基準を改定）
2021 年 9 月 3 日 執行部会：地すべり学会 BIM/CIM ネットワーク運営要領（総務部内規として新規制定）

(3) 財務

- ・ 予算執行状況の確認
- ・ 決算書及び予算書の作成

(4) 部会

- ・ 2021 年 11 月 29 日 地すべり学会ホームページ改定に関する情報交換（メールにて）
- ・ 2022 年 3 月 30 日 社員総会開催方式に関する打合せ（オンラインによる）

2. 事業計画部

(1) 第 60 回研究発表会及び現地見学会の開催

- ・ 2021 年 9 月 15 日～16 日にかけてオンライン（開会式はハイブリット）で開催

- ・参加者数：408 名
- ・発表数：口頭発表 64 件、ポスター発表 31 件
- ・道民講演会：You Tube を介し大会期間中を含む 9 月 12 日～9 月 20 日まで配信
- ・特別講演：1 件をオンラインで実施
- ・現地見学会：オンラインで実施
- ・新技術展示セッション：オンラインで実施
- ・若手優秀発表賞の審査を実施（受賞者数：口頭発表部門 5 名，ポスター発表部門 3 名）

(2) 2021 年度シンポジウムの開催

- ・2021 年 6 月 25 日に「地すべりと地質-地質学で地すべりを解剖する-」をオンラインで開催
- ・講演数：5 件
- ・参加者数：230 名（会員 171 名，非会員 59 名）

(3) 部会の開催

- ・日 程：2021 年 4 月 13 日、6 月 18 日、7 月 16 日、10 月 8 日、12 月 17 日、2022 年 2 月 18 日
- ・2022 年度シンポジウムの準備
日程、開催方法、テーマ、話題、進行の検討
- ・第 60 回研究発表会の準備と総括、第 61 回研究発表会の準備
日程、開催方法、予算、運営、講演集、若手優秀発表賞の検討

3. 編集出版部

(1) 日本地すべり学会誌編集委員会

①編集委員会の開催 2021 年 4 月～2022 年 3 月まで 12 回開催(月 1 回、全てオンライン会議)

②日本地すべり学会誌 Vol. 58. 3～6、Vol. 59. 1～2 計 6 号の発行

③特集号の企画・発行

- ・57(6)特集号「WLF5 の地すべり学会企画セッション」
- ・58(2)特集号「雪氷圏の地すべり」

※当初予定していた 57(4)特集号は応募原稿が無く，一般号に振り替えた

④シリーズ等の企画・連載

- ・シリーズ：「新用語集 地すべりキーワード 101」の連載継続
- ・シリーズ：「地すべり探訪」の連載継続
- ・国際部によるフォーラムの定期掲載
- ・賛助会員による「わが社の技術」の継続

⑤日本地すべり学会誌電子ジャーナル(J-stage)の刊行

⑥技術報告賞および査読者賞の候補者の推薦

⑦投稿規定等の改訂

- ・文言の統一、文章の簡潔化、新投稿システム Editorial Manager への対応
- ・上の修正を英語版にも適用

⑧投稿・査読・編集に関する新投稿システム(Editorial Manager)の導入と日本地すべり学会誌用のカスタマイズ化の検討

(2) 出版委員会活動

- ①委員会の開催（出版契約に関するメール会議 1 回）
- ②出版企画の審査（出版企画の新規申請なし）

4. 研究調査部

(1) 研究助成

- ・2019年度からの継続案件は1件であったため、新規1件を公募した。しかし応募者がおらず、今年の新規案件は無しとなった。2年連続で新規案件の応募がなかった。

(継続)

- ・白馬大雪渓周辺の岩盤斜面の連続モニタリング:(2019～2021年度) 代表 奈良間千之

(2) 地すべり・土石流災害調査報告会

以下のようにオンラインでの開催を行った。

開催日時: 2021年12月13日(月) 13:30～16:15

会 場 : オンライン講演会 (Microsoft Teams を利用)

参加人数: 176名

プログラム: 以下の通り。

開会あいさつ 笹原克夫 (日本地すべり学会研究調査部長・高知大学)

調査報告 司会: 山崎新太郎 (京都大学防災研究所)、柴崎達也 (国土防災技術株式会社)

- 1) 福島県沖を震源とする地震により二本松で発生したテフラ土層の長距離移動地すべり

発表: 石丸聡 (北海道立総合研究機構)

- 2) 2021年8月青森県下北北部で発生した土砂災害について

発表: 鄒青穎 (弘前大学)

- 3) 2021年8月豪雨による出雲市の地すべり他島根県内での災害事例紹介

発表: 藤井俊逸 (株式会社藤井基礎設計事務所)

- 4) 2021年3月糸魚川市来海沢で発生した長距離移動型地すべり

発表: 奥山悠木 (土木研究所雪崩・地すべり研究センター)

総合討論 司会: 山崎新太郎

(3) 研究委員会の活動

2021年度は以下の研究委員会活動を実施した。

- ① 斜面動態モニタリングデータに基づく崩壊発生予測研究委員会 (代表: 笹原克夫)
- ② 地震時地すべり研究委員会 (代表: 土井一生)
- ③ 雪氷圏の地すべり研究委員会 (代表: 岡本隆)
- ④ すべり面および移動体の物質科学・構造研究委員会 (代表: 中村真也)
- ⑤ 地すべりブロックの設定に関する研究委員会 (代表: 林一成)

また①の研究期間を1年延長し、2023年3月31日までとした。2022年度の新規活動テーマの募集を行った。

(4) 研究調査部会

実施しなかった。

(5) メール審議

- ・研究助成継続課題の継続審議 (2021年4月18日)
- ・災害調査報告会の実施について (2021年9月8日)
- ・研究委員会新規テーマ公募と既存委員会の研究期間の延長 (2022年2月4日)

5. 国際部

(1) 2021 年度会議

コロナ感染症まん延の防止のため、メール稟議または遠隔会議とした。

① 第 1 回会議 2021 年 8 月 9 日（遠隔会議：9 名出席）

- ・ 国際部ニュースについて
- ・ 海外招聘の講演会について

② 第 2 回会議 2022 年 1 月 28 日（遠隔会議：7 名出席）

- ・ 国際部 2022 年度事業計画について
- ・ 国際部 2022 年度予算について
- ・ 地すべり学会誌記事「国際部フォーラム」について
- ・ 国際部と ICL 委員会の統合について

(2) 活動内容

- ① 地すべり学会誌 2021 年 5 月，7 月，9 月号及び 2022 年 1 月，3 月号に記事「国際部フォーラム」を掲載し，Landslides 誌に掲載の論文紹介や部員が関わる海外の地すべり対策解説の記事を掲載した。
- ② 2021 年に延期された WLF5 訪日研究者（ロシア Geodynamics Research Center LLC の Alexander Strom 博士）の学術講演を 2021 年 11 月 8 日にオンラインで開催した（最大で 44 名の参加）。
- ③ ICL 委員会を廃止して国際部へ統合することを検討するとともに第 4 回理事会（2022 年 3 月 11 日開催）に提案した。

(3) その他の継続審議課題の検討

- ・ 新たな国際会議の企画、運営支援の可能性
- ・ SATREPS に関連したシンポジウムの企画の可能性
- ・ 日本地すべり学会の出版物の ICL 経由の宣伝の可能性
- ・ 「斜面防災技術国際化委員会」との連携
- ・ ICL 委員会の従来の事業内容のうち引き継ぐ内容の検討

6. 表彰委員会

(1) 学会賞（論文賞・技術報告賞・査読者賞・研究奨励賞・谷口賞・国際賞・その他の賞）の審査

表彰委員会にて審議

- ・ 論文賞：濱崎英作
- ・ 技術報告賞：田近淳、片山直樹
- ・ 査読者賞：阿部真郎
- ・ 国際賞：王文能、山岸宏光
- ・ 学会活動貢献賞：日本地すべり学会誌編集委員会

(2) 理事会へ表彰委員会の審議結果を報告し審議：2021 年 5 月 14 日

(3) 研究発表会の表彰式で表彰状授与：2021 年 9 月 15 日

(4) 2022 年度の候補募集

- ・ 会員向けメール、学会誌 (Vol. 58, No. 6)、及び学会ホームページで推薦公募締め切り：2022 年 3 月 1 日

7. 解説委員会

災害発生時の緊急マスコミ対応や一般市民からの問合せなど、以下の案件に対応した。

案件	日付	依頼元	内容	主対応者
地すべり地形の AI による自動抽出技術	2021/6/7	一般市民	地すべり地形の AI による自動抽出に関する国内の研究の中で、最も精度の高い研究成果の紹介依頼。	稲垣秀輝 檜垣大助 榎田充哉
熱海の土石流災害	2021/7/6	フジテレビ	盛土の崩落によって発生した熱海の土石流の発生機構がわかる映像の照会	榎田充哉
小学校の立地の土砂災害の危険度評価	2021/11/22	一般市民	小学校の統合に関連して、既存の 2 つの小学校の土砂災害の危険度評価の依頼。	榎田充哉 稲垣秀輝 新井場公德
杉のモノカルチャーと地すべり	2021/11/30	ニューヨークタイムズ東京支局	日本でのスギのモノカルチャー、そして地すべりとの関係について教えて欲しい	落合博貴
地すべり地内の公共道路における交通荷重の考慮	2022/3/17	建設コンサルタント社員（非会員）	地すべり移動ブロック内に公共道路が通る場合の地すべりの安定解析で交通荷重を考慮するかの相談。	稲垣秀輝

8. ICL 委員会

(1) 委員会：2021 年 4 月 9 日、10 月 5 日、2022 年 2 月 15 日(全て web 開催)

- ・WLF5 電子プロシーディングセッション準備（1 ページアブストラクト発表の確認）
- ・京都地すべりコミットメント(KLC2020)と学会活動の検討
- ・WLF5 終了後の ICL 委員会関係事項の実施体制検討

(2) WLF5 の共催及び、WLF5 における日本地すべり学会企画セッションの開催（ハイブリッド形式）：

2021 年 11 月 2 日～11 月 6 日

- ・WLF5：開会式、フォーラム講演、セッション発表、ハイレベルパネル討論「KLC2020 の現状と今後について」、円卓会議等
- ・WLF5：参加者 525 名（会場参加：154 名）、参加国 47 か国、発表件数 412 件、スポンサー 16 社
- ・日本地すべり学会企画電子プロシーディングセッション「土砂災害分野での日本の国際協力」、「日本のメーカー、施工業者、コンサルタント等の保有する技術の紹介」、「地すべり技術者による地域防災力の向上支援」、同 1 ページアブストラクトセッション「日本政府の地すべりに対する対策と施策」と「地すべり防災技術の国際化」で、計 52 件の発表・討論

9. 会員数対策

(1) 若手対策 WG

◆連絡会

- ・2021年6月9日(Web開催) アウトリーチ担当+会員数対策担当 連絡会

議題；学会員構成情報の共有、支部間の活動及び課題の共有、地すべり学会 BIM/CIM ネットワークの発足、フリーディスカッション

◆地すべり学会 BIM/CIM ネットワーク

【ネットワーク会合】

- ・第1回 2021年12月14日(Web開催)

プログラム；オーガナイザーの紹介、アンケート結果報告、

講演『地すべり CIM 活用の現状と方向性』(土木研究所 杉本上席研究員)

【オーガナイザー・ミーティング】

- ・第1回 2021年9月17日(Web開催)

議題；メンバー紹介、ネットワーク概要、オーガナイザーの役割、今後のスケジュール、オーガナイザーのペアリングと実施順序、フリーディスカッション

- ・第2回 2022年1月14日(Web開催)

議題；資料の閲覧・共有、参加者のコミュニケーションボード、第2回会合

- ・第3回 2022年2月17日(Web開催)

議題；情報共有ツール(TEAMS)の活用、3Dソフトに関する意見交換

◆若手対策事業

- ・各支部が主催する行事として実施(各支部報告参照)

(2)シニア対策WG

- ・コロナ禍により2021年度活動なし

10. アウトリーチ

2021年4月21日 各支部担当者にアウトリーチ活動に関するアンケート配布

2021年6月09日 アウトリーチ・若手会員数対策 第1回合同Web会議

2021年8月18日 メールでの情報交換連絡(メディア対応・説明ツール・アウトリーチ企画)

2021年9月14日 第2回理事会：第1回合同Web会議結果の理事会報告→メディア意識を優先課題

2021年9月24日 メディアを意識した地すべり学会HPのメール意見交換(メール交換)

2021年9月24日 第3回理事会：メディアを意識した地すべり学会HP改定の進め方報告・意見交換

2022年3月11日 第4回理事会：アウトリーチ活動体制強化として理事2名追加

11. 学会強靱化特別プロジェクト

- ・プロジェクト検討・選定のため、アンケート結果取りまとめ、情報収集等を実施。

12. 斜面防災技術国際化委員会

成果品原稿に関する推敲部会を以下の日程で計6回開催した。1回の推敲部会は原則2日間であるが、1日目で推敲作業が終了することもあった。それぞれ10:00~17:00の時間帯に実施したが、各実施日の参加者は4~6名であった。

(1)第9回推敲部会(Web)：2021年5月12日

(2)第10回推敲部会(Web)：2021年6月14日~6月15日

- (3)第11回推敲部会(Web)：2021年8月3日～8月4日
- (4)第12回推敲部会(Web)：2021年9月28日～9月29日
- (5)第13回推敲部会(Web)：2021年12月21日
- (6)第14回推敲部会(Web)：2022年2月1日

13. 北海道支部

(1)総会

- ・電子メールによる審議
- ・審議の日程

配信：2021年4月21日

結果の確定・公開：2021年5月14日

- ・投票者：52名(承認52名、否認：0名)

(2)特別講演会

- ・日時：2022年2月15日
- ・オンライン開催
- ・参加者：54名
- ・特別講演：2件

「微動アレイ観測による地震動特性」

(京都大学防災研究所 斜面災害研究センター 地すべりダイナミック研究領域 土井一生)

「振動台実験と現地観測による振動特性」

(京都大学防災研究所 地盤災害研究部門 山地災害環境研究部門 王 功輝)

(3)第1回運営委員会

- ・日時：2021年7月30日
- ・オンライン開催
- ・参加者：27名
- ・会議内容：2021年度事業計画・実施状況、予算、会員状況、本部動向、その他

(4)第2回運営委員会

- ・日時：2022年2月8日
- ・オンライン開催
- ・会議内容：2021年度事業報告・決算見込み報告、2022年度事業計画・予算(案)、本部動向、その他

(5)5学会支部連絡会

- ・日時：2022年1月19日 10:30～12:00
- ・オンライン開催
- ・参加者：11名
- ・会議内容：参加者自己紹介、各支部（土木学会、砂防学会、地盤工学会、農業農村工学会、日本地すべり学会）の2021年度実績および2022年度活動概要、今後の連携に関する意見交換

(6)巡検部活動

当初現地見学会の開催を計画していたが、新型コロナウイルスの影響により中止した。

(7)広報部活動

研究発表会予稿集編集(4月)、ホームページ運営、各種広報活動(通年)

(8)技術普及部活動

技術講習会の開催を計画していたが、新型コロナウイルスの影響により中止した。

(9) シニア会の活動

- ・ 日 時：2022 年 1 月 19 日 19:00～21:00
- ・ オンライン開催
- ・ プログラム
 1. 開会挨拶 シニア会代表 横田 寛
 2. 私の経験から ― 地質コンサルタントとして ― (横田 寛)
 3. その他
 4. 閉会の辞

(10) 若手の会の活動

新型コロナウイルスの影響により活動を行えなかった。

(11) 対外(北海道地すべり学会)協力

①普及活動

新型コロナウイルスの影響により活動を行えなかった。

②研究調査委員会

- ・ 日 時：2021 年 10 月 25 日
- ・ オンライン開催
- ・ 参 加 者：37 名
- ・ 話題提供：「北海道胆振東部地震におけるテフラ層の地すべりのメカニズムとハロイサイトの役割」
亀田 純（北海道大学）

③技術委員会

新型コロナウイルスの影響により活動を行えなかった。

14. 東北支部

(1) 支部総会（役員のためのオンラインによる書面決議）

*定足数 84 名(会員数 167 名の 1/2 以上)を満たし総会は成立

- ① 日 時 2021 年 5 月 14 日 15:30～17:30
- ② 場 所 株式会社復建技術コンサルタント 会議室
- ③ 参加者 リモート参加 4 名・委任状 89 名 計 93 名
- ④ 議 事

第一号議案	2020 年度年度事業報告
第二号議案	2020 年度収支決算報告及び監査報告
第三号議案	2021 年度事業計画（案）
第四号議案	2021 年度収支予算（案）
その他・報告事項	

※シンポジウム・意見交換会 コロナウイルス感染予防のため中止

(2) 会議等

① 役員会

- ・ 第 1 回役員会（2021 年 5 月 14 日 東北支部事務局会議室・リモート 9 名）
2021 年度事業実施計画・予算執行に関する協議
- ・ 第 2 回役員会（2021 年 8 月 21 日 東北支部事務局会議室・リモート 8 名）
青森県風間浦村の豪雨災害への合同調査団派遣について
砂防学会東北支部との連携に関する協議ほか

- ・第3回役員会（2022年2月10日 東北支部事務局会議室・リモート 9名）
2021年度事業報告・収支決算見込み、2022年度事業計画・予算(案)
及び役員改選人事ほかに関する協議

② 幹事会

- ・第1回幹事会（2021年6月22日 東北支部会議室・リモート 14名）
地すべり現地検討会の開催計画、シンポジウム・研修会、若手会員対策に関する協議
- ・第2回幹事会（2021年7月13日 崩ヶ沢地すべり現地 11名）
地すべり現地検討会開催地の現地確認及び開催方法に関する協議
- ・第3回幹事会（2021年9月21日 東北支部事務局会議室・リモート 8名）
地すべり現地検討会 Web リハーサル
- ・第4回幹事会（2022年3月17日 東北支部事務局会議室・リモート 14名）
2021年度事業報告と2022年度事業計画（案）について

③ 運営委員会（2022年3月31日 メールによる議案書（案）の送付）

- 2021年度事業報告及び決算（案）及び2022年度事業計画及び予算（案）の審議
- 2022・2023年度東北支部役員人事（案）の承認ほか

(3) 支部ワーキンググループ「斜面変動研究の次世代コロキウム」

*今年度は集合形式での開催を避け、オンライン研修として行った。

- ① 趣 旨 支部若手会員の技術的交流の場として分科会活動を継続、拡大し、学会等での発表や投稿を視野に地すべり調査における技術の伝承を図るとともに、支部の会勢拡大に繋げる。
- ② 分科会活動 : 地すべり学会誌に論文を投稿稿

(4) 東北支部地すべり現地検討会

- ① 場 所 : 秋田県由利本荘市「崩ヶ沢地すべり」
- ② 開催日時: 2021年10月6日 13:00~17:00 (オンライン開催 参加45名)
・事前に作成し配信した動画を視聴したうえで参加し、ブレイクアウトルームを利用したグループ討議を班単位で行い、討議結果を総合討論で発表した。

(5) 災害派遣調査

2021年8月9日~10日にかけての青森県風間浦村で発生した豪雨災害に対して、(公社)砂防学会東北支部と合同で現地調査を行った。

- ① 第1次調査（2021年9月18日~19日 参加7名）
・コロナ感染予防を考慮し、東北支部から青森県在住の2名が参加
- ② 第2次調査（2021年11月6日~7日 参加25名）
・東北支部からは3名が参加し、調査結果については砂防学会と連携し随時支部ホームページで報告した。

(6) 広報活動等

- ① 支部だより第32号の発行（2021年12月20日） 印刷部数260部、発送部数254部
- ② 支部ホームページの更新、情報発信
- ③ 講師派遣
・宮城県砂防ボランティア協会主催研修会（2021年5月19日）
(株)復建技術コンサルタント 押見和義氏
・秋田県地質調査業協会（秋田県と共催）「測量実習及び調査・設計研修会」（2021年7月15~16日）

奥山ボーリング(株) 藤井 登氏、大村 泰氏

(7) 関連団体との連携・地域貢献

- ① 「2021 年青森県風間浦村の豪雨災害に関する合同調査団」へ砂防学会東北支部と参画
- ② (一社) 斜面防災対策技術協会
 - ・地すべり防止工事士更新講習会講師 大河原正文支部長
 - ・機関紙「山が動く」への投稿 濱崎英作氏、林 一成氏
- ③ (公社) 土木学会東北支部土木の日特別行事
 - 「防災に関するシンポジウム」(2022 年 1 月 26 日 オンライン開催)
 - ・基調講演「東北地方における近年の土砂災害」 大河原正文支部長
 - ・パネルディスカッションパネリスト 高見智之副支部長
 - * 話題提供 「空からの地盤・土砂災害調査」

15. 新潟支部

(1) 2021 年度支部総会

2021 年 5 月 28 日オンライン開催、参加者は 26 名 (リモート参加 20 名・委任状 6 名)

(2) 地すべり災害合同見学会

2021 年 11 月 10 日糸魚川市来海沢地すべり災害現場にて開催、地すべり学会中部支部・砂防学会信越支部との共同開催、参加者は 30 名

(3) 新潟県地すべり災害記録 CD 改訂版の出版

2021 年 5 月 28 日、2021 年版を出版 (2020 年に発生した地すべり災害記録を追加)

(4) 新潟支部ホームページの管理・運営

支部の活動、行事、出版物等の情報を発信

(5) 新潟県地すべり対策研究会への参加

2021 年 10 月 18 日、災害対策部会、糸魚川市来海沢地区の応急対策工事状況視察、支部から 2 名参加

2022 年 3 月 16 日、技術部会及び総会 (オンライン開催)、支部から 4 名参加

(6) 会議記録

今年度は幹事会としての会議は開催していない

必要に応じて幹事にメーリングリストで情報提供・意見交換した

16. 関東支部

(1) 総会

2021 年 5 月 7 日 (金) 14:00～14:30

ソニックシティビル 7F 707 会議室 (埼玉県)

出席者数 10 名 委任状数 98 名 決議書提出者 6 名 計 114 名 (定足数 87 名以上)

総会終了後、ミニ講演会「表層崩壊の発生場と危険度評価」開催

講師：上野将司 (関東支部技術委員)

(2) 創立 15 周年記念シンポジウム

2021 年 8 月 24 日 (火) 13:30～16:30

形式：航空会館よりオンライン配信 (Zoom)

「地すべり技術の現状と課題－会長経験者に聞く－」

話題提供者：「最近の土砂災害と森林の機能について」落合博貴 ((一社) 日本森林技術協会)

「九州北部豪雨に伴う斜面崩壊の発生場の特徴」 土屋智(国土防災技術㈱)

「地形情報を活かした斜面災害リスクへの対応」 桧垣大助(日本工営㈱)

参加者：155 名

(3) オンライン講習会－富士山と災害－

2021 年 8 月 10 日(火)14:00～16:30

形式：ハイランドリゾートホテル会議室よりオンライン配信(Zoom)

「火山としての富士山とその災害」

講師：吉本充宏(山梨県富士山科学研究所富士山火山防災研究センター長)

協力：山梨県富士山科学研究所

参加者：80 名

(4) 技術講習会

基礎技術講習会「地すべりのすべり面を学ぶ」

2021 年 10 月 26 日(火) 14:00～17:00

形式：オンライン配信(Zoom)

講師：柴崎達也(国土防災技術㈱)

参加者：148 名(非会員 68 名)

(5) (一社)斜面防災対策技術協会関東支部との共催事業

2021 年 10 月 21 日(木)13:00～16:00

テーマ：2019 年東日本台風(19 号)災害による富岡市内匠地区の災害と対策工の見学

場所：群馬県富岡市内匠地区

主催：(公社)日本地すべり学会 関東支部、(一社)斜面防災対策技術協会 関東支部

協力：群馬県砂防課、富岡土木事務所、岩井建設㈱、タルヤ建設㈱、日本サーベイ㈱

参加者：30 名

(6) 運営委員会・幹事会

① 運営委員会

・第 1 回 2021 年 4 月 9 日 オンライン会議 出席者 21 名

・第 2 回 2021 年 12 月 3 日 オンライン会議 出席者 15 名

② 幹事会

・第 1 回 2021 年 6 月 9 日 オンライン会議 出席者 13 名

・第 2 回 2021 年 7 月 30 日 オンライン会議 出席者 10 名

・第 3 回 2021 年 9 月 10 日 オンライン会議 出席者 9 名

・第 4 回 2021 年 11 月 19 日 オンライン会議 出席者 11 名

・第 5 回 2022 年 3 月 29 日 オンライン会議 出席者 12 名

(7) 広報活動等

・関東支部 Web ページ更新

17. 中部支部

(1) 支部総会

2021 年 4 月 26 日

・新型コロナウイルス感染症対策のため、集会による決議を行わず書面表決にて実施

・表決書提出者：57 名

なお、例年総会時に開催している支部運営委員会は、新型コロナウイルス感染症対策のため中止した。

(2) アウトリーチ活動

①「環境防災学へ地すべりって何なの?～」への講師派遣

2021年10月25日

- ・場 所：長野工業高等専門学校(長野県長野市)
- ・出席者：5名(講師3名、運営スタッフ2名)
- ・参加者：21名(先生1名、学生20名)

③ 地すべり地調査(長野県依頼)

2021年11月12日

- ・場 所：屋敷沢地すべり(長野県伊那市)
- ・出席者：6名(堤大三 支部長ほか5名)
- ・参加者：12名(県職員8名、調査会社4名)

④「職員研修」への講師派遣(長野県依頼)

2021年12月10日

- ・場 所：袖山地すべり他(長野県東筑摩郡生坂村)
- ・出席者：2名
- ・参加者：約15名(長野県職員)

(3) リモート現地見学会

2021年10月1日

- ・場 所：オンライン(三重県庁、三重大学、長野市、京都市の計4会場より配信)
- ・講演 1：三重県の砂防事業
三重県 県土整備部 防災砂防課 課長 須賀 真司 氏
- ・講演 2：三重県の治山事業
三重県 農林水産部 治山林道課 課長 真弓 伸郎 氏
- ・講演 3：浅里地区の地すべり概要
熊野農林事務所 森林・林業室 森林保全課長 小菅 忍 氏
- ・ロケ動画：「浅里地区地すべり 前編、後編(各30分)」
- ・講演 4：浅里地区の地すべり調査結果の報告
(株)キンキ地質センター 片岡 泰 氏
- ・講演 5：浅里地区地すべり対策検討の概要報告
同上(片岡 氏)
- ・参加者：78名

(4) 斜面防災世界フォーラム

2021年11月4日

- ・場 所：国立京都国際会館(オンライン)
- ・WEB 発表：「地すべり学会中部支部での災害伝承、防災教育のとりくみ」
- ・参加者：1名(発表者)

(5) オンラインセミナー

2021年12月2日

- ・場 所：オンライン(長野県の2会場と三重県、東京都、静岡県、宮城県の計6会場より配信)
- ・基調講演：地すべり対策における事前防災の取組と課題
国立研究開発法人土木研究所 上席研究員 杉本 宏之 氏
- ・講演 1：熱海市の土石流災害における点群データ活用
静岡県 交通基盤部 政策管理局 建設政策課 杉本 直也 氏

- ・講 演 2：山地災害危険箇所把握のための航空レーザーを用いた地形解析手法
長野県 林務部 信州の木活用課 戸田 堅一郎 氏
- ・講 演 3：事前防災のための斜面の危険度評価に向けて
奥山ボーリング(株) 技術部 林 一成 氏
- ・参 加 者：122 名

(6) 中部支部ニュース発行

2022 年 3 月 31 日

(7) 幹事会

2021 年 4 月 9 日：オンライン(出席者 19 名)

2021 年 7 月 28 日：長野市生涯学習センター(出席者 20 名 ※オンライン参加者 7 名を含む)

2021 年 7 月 30 日：オンライン(出席者 7 名 ※企画系会議)

2021 年 9 月 10 日：オンライン(出席者 6 名 ※企画系会議)

2021 年 9 月 28 日：オンライン(出席者 5 名 ※アウトリーチ活動関連会議)

2021 年 10 月 15 日：長野市生涯学習センター(出席者 15 名 ※オンライン参加者 2 名を含む)

2021 年 10 月 18 日：オンライン(出席者 4 名 ※アウトリーチ活動関連会議)

2022 年 1 月 7 日：長野市生涯学習センター(出席者 20 名 ※オンライン参加者 3 名を含む)

2022 年 2 月 24 日：オンライン(出席者 4 名 ※企画系会議)

18. 関西支部

(1) 第 1 回運営委員会

①日時：2021 年 4 月 2 日

②場所：Zoom によるオンライン開催

③出席者：18 名 委任状：0 名

④議事：

報 告

2020 年度第 2 回運営委員会議事録、2020 年度支部事業報告(案)、会誌「らんどすらいど」No. 36、
協賛会員名簿、2020 年度支部決算報告(案)

議 題

2021 年度事業計画(案)、2021 年度予算計画(案)、支部長等の選出、その他

(2) 若手研究発表会

①日時：2021 年 4 月 14 日 14：00～18：10

②場所：Zoom によるオンライン開催

③主催：(公社)日本地すべり学会関西支部

④参加者：30 名

⑤講演者とタイトル

山下 真司 ((株)ウエスコ) 「兵庫県加東市での地すべり変状観測事例」

原田 隆弘 (復建調査設計(株)) 「法面崩落リスクの把握における点群データの活用」

塚本 峻一 (アジア航測(株))

「航空レーザ計測データを用いた土砂堆積箇所等の抽出検討

～オフセットフィルタリング結果に対する領域抽出手法の適応について～」

下岡 優希（広島大学大学院） 「広島県のいち学生の新しい防災活動報告
～わたしの考える地域防災のありかた～」

西村 博夫（空撮ジャパン） 「パワードパラグライダーでの空撮」

土井 一生（京都大学防災研究所） 「地震波形記録に含まれるもの」

美馬 健二（太田ジオリサーチ）

「一次元表面波探査を用いたモルタル吹付背面の地山強度測定」

藤本 耕次（復建調査設計(株)）

「四国山地の大規模地すべり地における対策工設計事例の紹介」

総合討論

(3)春のシンポジウム「地すべり研究のリ・スタート」開催

①日時：2021年4月15日10:30～16:20

② 場所：Zoom によるオンライン開催

③ 主催：（公社）日本地すべり学会関西支部

④ 後援：（公社）砂防学会、（公社）地盤工学会関西支部、（一社）斜面防災対策技術協会関西支部

⑤参加者：289名

⑥講演者とタイトル

＜話題提供＞

・研究対象空間領域のリ・スタート

ー沿岸・浅水域で発生する地すべりの発生場とプロセスー

京都大学防災研究所 山崎 新太郎

・時間防災学の視点からのリ・スタート

ー土石流サイクルと切迫度による新しいリスク評価ー

山口大学 鈴木 素之

・デジタル技術を活用したリ・スタート

ー熟練技術者の技術の伝承などー

日本工営（株）中央研究所 太田 敬一

・地すべりの予測技術のリ・スタート

ー斜面災害軽減のための危険度評価の取り組みー

奥山ボーリング（株） 林 一成

・従来研究からのリ・スタート

ー新たな研究要素の発掘による地すべり研究の新展開ー

京都大学防災研究所 松浦 純生

・パネルディスカッション 「地すべり研究のリ・スタート」

司会 山崎 新太郎(京大防災研) パネラー 話題提供者

(4)関西支部 総会

①日時：2021年4月15日16:30～17:00

② 場所：Zoom によるオンライン開催

③議事

報 告

2020年度活動報告、2020年度決算報告、2021年度活動計画、2021年度予算、その他

(5)第2回運営委員会

①日時：2021年11月5日

②場所：Zoomによるオンライン開催

③ 出席者：15名 委任状6名

④ 議事

報告

2021年度第1回運営委員会議事録、2021年度支部事業報告、2021年度今後の事業予定
議題

2022年度支部行事について、刊行物の残部について、その他

(6)2021年度（公社）日本地すべり学会関西支部現地討論会

「結晶片岩地域の地すべりと深層崩壊」開催

① 見学会日時：2021年12月3日

② 見学場所：徳島県三好市西祖谷山村有瀬

③ 討論会日時：2021年12月4日

④ 討論会場所：Zoomによるオンライン開催

⑤ 主催：（公社）日本地すべり学会関西支部

⑥ 共催：一般社団法人 斜面防災対策技術協会 四国支部

⑦ 見学会参加者：41名

⑧ 討論会参加者：54名

⑨ 講演者とタイトル

・特別講演及び話題提供

1) 「大歩危地域の地形・地質・斜面災害」

京都大学防災研究所徳島地すべり観測所 山崎 新太郎

2) 「平成30年7月豪雨による高知県大豊町立川流域における大規模崩壊」

高知大学 笹原 克夫

3) 「連続1m深地温観測による西井川地すべりの流動地下水の動態」

富山県立大学 古谷 元

4) 「徳島県有瀬地区地すべり対策の現状と課題について」

国土交通省四国山地砂防事務所 松下 一樹

・パネルディスカッション

(7)「らんどすらいど37」会誌の発行・発送

①日時：2022年2月21日

②執筆者とタイトル

四万十付加体における重力斜面変形と深層崩壊に対する衝上断層の役割

一紀伊山地熊野川上流域を例として

荒井 紀之（京都大学防災研究所）

一次元表面波探査を用いたモルタル吹付背面の地山強度測定

美馬健二・川浪聖志（有限会社太田ジオリサーチ）

編集後記

山崎新太郎（京都大学防災研究所）

19. 九州支部

(1) 支部幹事会

- ・開催日：2021 年 5 月 31 日（Web 会議）
- ・参加者：出席 17 名，委任 20 名

(2) 支部総会

- ・開催日：2021 年 6 月 1 日～6 月 9 日（Web 会議）
- ・参加者：出席 25 名，委任 17 名

・議 題

第 1 号議案 2021 年度支部役員選出

第 2 号議案 2020 年度決算報告および監査報告

第 3 号議案 2021 年度予算（案）

第 4 号議案 2021，2022，2023 年度の総会・講演会開催地

第 5 号議案 活動方針について

その他

報告・懇談事項

資料

賛助会員状況、支部規約、沖縄会の役員名簿と規約の案、2021-2022（公社）日本地すべり学会代議員名簿、九州支部ホームページについて、九州支部会員へ総会開催の連絡、学会メーリングリストへの登録のお願い

(3) 支部学術講演会（支部設立 30 周年記念佐世保大会）

主催：（公社）日本地すべり学会九州支部

共催：（一社）斜面防災対策技術協会九州支部

共催：九州地区地すべり防止工事士会

- ・開催日：2021 年 12 月 9 日（木）
- ・講演会：15:00～18:00（ライブ配信）
- ・会場：オンライン（本部システム Teams、300 名まで）
- ・プログラム

司会：木村匠（琉球大学）

開会挨拶

15:00～15:05

中村真也 支部長（琉球大学）

九州支部の 30 年の歩みと今後について

15:05～15:15

高木辰治（㈱アールデ）

降雨による土砂災害発生メカニズムと予測評価

15:15～16:00

蔣宇静（長崎大学）

小休止（5 分）

牧の地地区災害関連緊急地すべり対策事業について

16:05～16:20

後藤寛斉（長崎県県北振興局建設部砂防防災課砂防第一班）

斜面对策工の維持管理に対する取組み事例

16:20～16:55

井上宏（日本工営（株））

小休止（5 分）

地すべり・斜面防災におけるアウトリーチ、若手会員に関する活動

17:00～18:00

香月裕宣（（株）ジオテック技術士事務所）

閉会挨拶

香月裕宣 副支部長（（株）ジオテック技術士事務所）

CPD (JCCA) 2.75 単位

(4) 支部現地見学会

- ・開催日：中止

(5) 支部技術検討会（沖縄会の活動）

- ・開催日：中止

(6) 九州支部ホームページの管理・運営

- ・支部役員・幹事の更新，支部活動・行事のお知らせ、要旨集 PDF 等の共有

(7) アウトリーチと若手会員活性化に関する活動

- ・地すべり・斜面防災におけるアウトリーチ、若手会員に関する活動について，香月副支部長の司会の下で意見交換を行った（支部学術講演会にて）
- ・2022 年度の支部現地見学会等で若手～シニアが討論できる場を設ける予定
- ・2022 年度の福岡大会で新規会員獲得を目指す

(8) 共催事業

- ・2021 年度 現場見学会(第 13 回)

共 催：(一社)斜面防災対策技術協会九州支部、九州地区地すべり防止工事士会

開催日：中止

- ・2021 年度斜面防災対策技術研修会(第 34 回)

主催：(一社) 斜面防災対策技術協会九州支部

共催：(公社) 日本地すべり学会九州支部

開催日：2022 年 4 月 18 日（新型コロナウイルス感染者の急増により日程を変更）

会場：TKP ガーデンシティ博多新幹線口 5 階 プレミアムホール

事業報告の附属明細書

「事業報告の内容を補足する重要な事項」は特にないため、附属明細書は作成しない。